

令和5年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に、安全講習会を次のとおり開催した。

地 区	回 数	受講者数
宇 部	1	19
芦 屋 地 区	1	13
ひ び き 灘 地 区	1	70
西 港	1	18
有 明 海	2	47
伊 万 里 湾	1	60
長 崎	4	150
佐 世 保 地 区	1	10
対 馬	1	20
平 戸 地 区	1	30
大 分 地 区	1	30
白 杵 地 区	1	31
津 久 見 地 区	1	25
佐 伯 地 区	1	15
長 門 地 区	1	15
萩 地 区	1	50
福岡県海洋スポーツ協会・福岡地区	1	39
関 門 地 区	2	82
洞 海 地 区	1	26
合 計	24回	750名

(2) 安全講習会受講旗・受講証配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として、安全講習会受講旗を各海上保安部署含め764枚配布した。

また、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員・各海上保安部署に安全講習会受講証を42枚配布した。(令和5年度 青色)

(3) 小型船航海実習研修

委託者：運輸安全委員会事務局 門司事務所

運輸安全委員会の調査官等に対する小型船航海実習研修を計画していたが、委託者の都合により、今年度は関東地区(関東小型船安全協会)で実施されたため、当協会では実施されなかった。

○広報活動

(1) カレンダーの作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを作成し配布した。

規格・作成部数 A2版 カラー 220部

配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上安全パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用の「小型船舶安全運航2024」を作成し配布した。

規格・作成部数 A5版 31ページカラー 2,000部

配布先 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー、マリーナ等

(3) 安全運航・事故防止に関する安心安全読本

プレジャーボートの運航者のための安全・安心運航に役立つ「プレジャーボート等のためのいろは歌～安全運航・事故防止に関する安全・安心読本～」を作成した。

規格・作成部数 B5版 64ページカラー 500部

配布予定先 各地区小型船安全協会及びその関係先

2 小型船舶に対する海上安全パトロール（公益1）

○海上安全指導員による安全活動

(1) 海上安全パトロール及び海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリネレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して指導した。

また、マリネレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まで進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

各海上保安部署との海上安全パトロール

地 区	現場指導員数	現場指導隻数
宇 部	2	6
ひ び き 灘 地 区	3	8
西 港	2	4
み や こ 地 区	3	3
有 明 海	12	13
伊 万 里 湾	12	8
唐 津 玄 海	3	8
長 崎	15	44
佐 世 保 地 区	7	1
平 戸 地 区	2	5
大 分 地 区	6	6
白 杵 地 区	4	5
佐 伯 地 区	4	1
長 門 地 区	4	3
萩 地 区	3	5

福岡県海洋スポーツ協会・福岡地区	2	2
関門地区	5	23
洞海地区	5	4
合計	94回	149隻

(2) 陸上からの訪船活動

船溜まり及びマリーナ等に出向き、パンフレットを配布し、発航前点検、ライフジャケット着用の声かけを実施した。

地区	訪船活動回数	現場指導隻数
宇部	3	8
ひびき灘地区	6	25
西港	1	2
みやこ地区	1	1
有明海	6	15
伊万里湾	4	26
長崎	8	31
対馬	1	8
平戸地区	2	30
大分地区	5	5
豊前海	21	511
長門地区	1	3
萩地区	6	26
福岡県海洋スポーツ協会	4	7
合計	69回	698隻

(3) 海上安全指導員会議

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員が、活動する上での問題点等について検討するとともに各地区の海上安全指導員とのコミュニケーションを図ることを目的に実施した。

実施日 令和5年10月12日(木)
 実施場所 門司港湾合同庁舎 7階会議室
 出席者 第七管区海上保安本部 交通部 4名
 運輸安全委員会事務局 門司事務所 1名
 各地区海上安全指導員 28名

- 実施内容
- (1) 運輸安全委員会「知床遊覧船事故の概要と教訓」
 - (2) 第七管区海上保安本部「小型船舶の海難状況について」
「ウォーターアクティビティへの対応について」

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝（公益2）

○海上イベントへの協力等

(1) 関門港ボート天国

開催日：令和5年7月16日（日）

開催場所：北九州市関門港レトロ地区関門港門司区第1船溜まり及びその付近の
海域

プレジャーボートの安全運航とマリレジャーに対する健全な普及と安全思想の啓発を図るため、関門港で開催されたボート天国に参画し、会場・水辺警備を担当したほか、一般市民106名を海上安全指導員とともにモーターボートへ試乗させる行事を実施した。

(2) 安全啓発グッズの作成配布

イベント等で配布するため、ボールペンを2,000本作成した。

配布先：会員及び各海上保安部署、安全講習会・海上安全パトロール・イベントで
850本配布した。

(3) リーフレット（ひろげよう！安全活動の輪！）

協会用リーフレットを1,000部作成し、イベント等で579部配布した。

(4) 2023九州ボートショーin福岡

開催日：令和5年6月10日（土）、11日（日）

場所：福岡市ヨットハーバー特設会場

来場者：2,031名

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究（公益1）

○調査研究受託事業

- (1) 長門周辺海域（萩、長門、角島東方）における小型船舶及びウォーターアクティビティの安全対策について

委託者：公益社団法人 西部海難防止協会

長門周辺海域は、プレジャーボートをはじめ様々なウォーターアクティビティの活動が活発な地域であることから、同海域の小型船舶やウォーターアクティビティの活動実態調査等を行い、小型船舶やウォーターアクティビティの海難の極小化を図ることを目的とした調査検討を実施する。

本年度は、調査海域の現地調査等を行い、第1回委員会を令和6年3月6日（水）13：30から、TKP 小倉駅前カンファレンスセンター9階第1会議室で実施した。

5 小型船による災害支援活動（公益1）

○人命救助訓練

- (1) 訓練

各地区小型船安全協会において、各海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

地 区	実施回数	参加人員	参加隻数
伊 万 里 湾	1	12	5
唐 津 玄 海	1	20	2
長 崎	1	33	3
平 戸 地 区	1	31	5
萩 地 区	1	25	3
福岡県海洋スポーツ協会	1	38	
合 計	6回	159名	18隻

6 その他本協会が目的を達成するための必要な事業

○海上安全指導員用ベスト・マリンハットの貸与

令和5年度に、新規で任命された海上安全指導員に対し、陸上及びイベント時に海難防止活動をする際に着用できるベストを7着、マリンハット7個貸与した。

○関係会議への出席

令和5年 5月	「令和5年度西日本海難防止強調運動推進連絡会議」	(公社)西部海難防止協会 (富賀見会長出席)
7月	「JX金属製錬(株)佐賀製錬所棧橋建造(仮称)に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「北九州響灘洋上ウインドファーム施工計画変更に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)
8月	「JX金属製錬(株)佐賀製錬所棧橋建造(仮称)に伴う航行安全対策調査専門委員会」第3回	(公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)
9月	「北九州港港湾計画改訂に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「北九州響灘洋上ウインドファーム施工計画変更に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回 「関門航路(大瀬戸地区)整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)
10月	「第26回西海防セミナー」	(公社)西部海難防止協会 (富賀見会長、船越専務理事出席)
11月	「全国海難防止団体等連絡調整会議」	(公社)日本海難防止協会 (富賀見会長、船越専務理事出席)
12月	「関門航路(大瀬戸地区)整備に伴う航行安全対策調査専門委員会」第2回	(公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)
令和6年 1月	「福岡県海面利用筑前地区協議会」	福岡県農林水産部 (船越専務理事出席)
2月	「第27回西海防セミナー」 「令和5年度国家石油備蓄基地(上五島地区)の機動性向上に関する航行安全対策調査検討委員会」第1回 「早瀬瀬戸における異常潮流に関する調査委員会(仮称)」第1回	(公社)西部海難防止協会 (富賀見会長、船越専務理事出席) (公社)日本海難防止協会 (船越専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)
3月	「長崎港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会(仮称)」第1回 「ひびきLNG基地におけるSTS運用に伴う航行安全対策調査専門委員会」第1回	(公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席) (公社)西部海難防止協会 (船越専務理事出席)

○物品販売事業（収益）

協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを目的として52枚を有料にて頒布した。